

# 考えよう！平和と未来



NO. 33 2015/11/18 東京都教職員組合江戸川支部 TEL 3651-3153

## パリ同時多発テロ

### いかなる理由でも許されない！

### 東京でも現実には？テロを防ぐには？

パリで13日夜に発生した同時多発テロ。129人が命を奪われ多くのけが人を出しました。ISが「フランスのシリア空爆への報復」とする犯行声明を出し、「初めてのヨーロッパにおける組織的な大規模テロ」ということで世界中に衝撃が走りました。罪のない市民に銃を向け、無差別に殺害するような残虐行為は、いかなる理由であれ許されるものではありません。

テロにどう向き合えばよいのか私たち一人一人が問われています。



Q1. フランスではテロに対して警戒態勢だったのでは？

A1. 今年1月、週刊誌シャルリエブドなどへの連続テロ（17人死亡）を受け、軍人1万人を動員し最高レベルの警戒態勢を敷いてテロに備えていました。

Q2. それなのになぜ？

A2. 今回テロが起こった場所は劇場やレストランなど「ソフトターゲット」と呼ばれる警

備が手薄な場所。このような場所でテロを防ぐことは極めて困難であることが示されました。

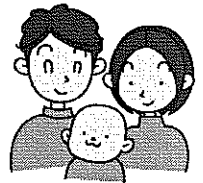
Q3. 世界中でテロが頻発しているのはなぜ？

A3. 大きなきっかけはアメリカのアフガン・イラクへの対テロ戦争です。2つの戦争は長期に及び、テロを世界に拡散。テロはその後も増加し、2014年で発生したテロでの死者は前年比で81%も増加しています。（米務省テロ報告書）

# NO WAR

裏面に続く

表面の続き



Q4. ISが台頭した背景は？

A4. イラクでは、米国の国連決議を無視した無法な侵略戦争（「大量破壊兵器開発」は侵略の「口実」であったことが事後明らかに）と占領への憎悪（多くの一般市民の殺戮など）と深刻化した宗派対立が過激派組織ISの出現につながりました。

Q5. テロへの対応はどうすれば？

A5. 空爆や掃討作戦などの軍力では多くの一般市民の殺戮につながり、テロを支持する温床をつくりテロを拡大してしまいます。それはこの14年間の歴史と事実からも明らかです。根源にある地域紛争、貧困や人種・民族・宗教差別の根絶、人権や法の支配の尊重など包括的協力が必要で、国際社会の結束した対応でしか解決につながりません。



## 安保法廃止の署名に協力を！

総がかり実行委員会では5月3日の憲法記念日までに2000万筆の署名を呼びかけています。みなさんのご協力を！

Q6. 日本はどうすれば？

A6. 中東地域では「日本は戦争をしない国」「中立の国」として欧米諸国とはちがう評価を受けてきました。この強みを生かし「憲法9条」の精神に基づいた「真の積極的平和主義」の発揮（調停役など）が求められています。

Q7. 日本でのテロは？

A7. 残念ながら安保法制が「成立」し日本はアメリカと共に戦争をする国になりかかっています。もし、IS空爆への後方支援に参加すればテロ攻撃を受けることになりかねません。すでにISは日本を「有志連合の一員」としてテロの対象に上げています。いくら警備を強化しようと「東京で大規模テロ」ということが現実になりうるかもしれません。安保法の廃止が何としても必要です。

## 戦争法廃止！国会前集会

11月19日（木）6：30～国会正門前

### 辺野古に基地を造らせない大集会

11月29日（日）1：30～日比谷野音

★行動に参加したら報告してください！ 3651-3153 FAX3655-3521